

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: 自然ふれあい担当
 内線: 3156

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P15	自然ふれあい施設管理費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	地方自治法、都市公園法、埼玉県自然学習センター条例ほか			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール 4, 6, 15
						分野施策	1003	生物多様性の保全	SDGsターゲット 4-7, 4-a, 6-6, 15-7
1 事業概要 県民が自然とふれあい、また、学習する機会を設けることにより自然保護思想の普及向上を図るため、施設周辺の自然環境の保全を図るとともに、県民が自然とふれあう場を提供するため、その拠点である自然ふれあい施設の適正な管理運営が必要である。 イ 自然ふれあい施設推進事業費 △14,610千円 ウ 自然ふれあい施設借地料等 △101千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 自然ふれあい施設指定管理運営費(通年) 109,716千円 → 109,716千円 自然ふれあい施設3施設の管理運営に係る指定管理者への委託料 自然ふれあい施設Wi-Fi維持管理費 イ 自然ふれあい施設推進事業費(通年) 102,981千円 → 88,371千円 (ア) 自然ふれあい施設の施設改築工事や維持管理修繕(県実施分) (イ) さいたま緑の森博物館用地取得費、さいたま緑の森博物館森林管理 ウ 自然ふれあい施設借地料等(通年) 17,336千円 → 17,235千円 さいたま緑の森博物館用地借地料等 (2) 事業計画 ア 自然ふれあい施設指定管理運営費 自然ふれあい施設3施設の適正な管理運営を行う。 イ 自然ふれあい施設推進事業費 計画的な森林管理、施設管理を行う。 (3) 事業効果 自然ふれあい施設3施設利用者数 令和3年度: 156,100人(計画)(実績136,934人)→令和4年度: 目標156,200人 (4) 補正予算の概要 ア さいたま緑の森博物館公有地化事業の執行減に伴う減 △14,474千円 イ 経費節減に伴う減 △237千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 緑の森博物館用地購入事業債 充当率90%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	使用料・手数料	繰入金	県債				
決定額	△14,711				△14,000			△711	215,322
現計額	230,033	5,000	109	18,000	75,000			131,924	

事業内訳書

事業名	自然ふれあい施設管理費		
単位事業名	自然ふれあい施設推進事業費	予算額	△ 14,610千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 総務債	△14,000	—	緑の森博物館用地購入事業債
一般財源	△610	—	
合計	△14,610	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△23	—	経費節減による減
需用費	△113	—	経費節減による修繕料の減
公有財産購入費	△14,474	—	さいたま緑の森博物館公有地化事業の執行減
合計	△14,610	—	

単位事業名	自然ふれあい施設借地料等	予算額	△ 101千円
-------	--------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△101	—	
合計	△101	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△101	—	経費節減による負担金の減
合計	△101	—	